



奥須磨公園ガイドマップ

☆春☆



春の奥須磨公園

桜が咲く季節、明るい地面では小さな草花が花をつけます。

黄色いタンポポ、紫色のスミシ、ピンク色のヒメオドリコソウ。

ツクシはおひたしにして食べることもできます。

太陽の光が強くなり、若葉がのびるころ、水辺には春のトンボがあらわれます。

林ではウグイスが、さえずりの練習をはじめています。

そして梅雨が近づくと、夜の水辺で、ひっそりとホタルが飛び交うようになります。

	3月	4月	5月	6月	7月
ゲンジボタル	幼虫	さなぎ	成虫	卵	幼虫
フタスジサナエ			成虫		
オツネトンボ			成虫		
カンサイタンポポ		花			
スミシ		花			
スギナ		つくし			
ヒメオドリコソウ		花			



注意

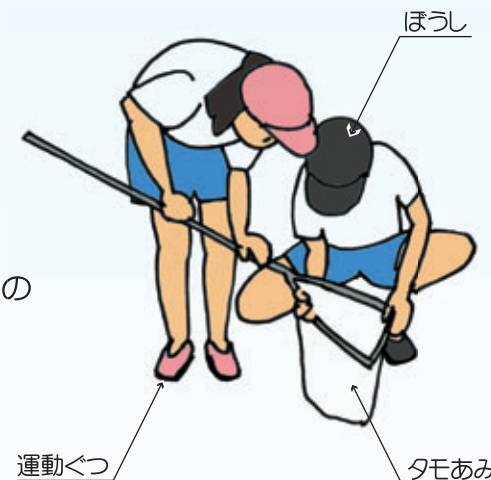
- つかまえたいきものは、つかまえた場所に逃がしてあげましょう。
- 深い池のまわりには柵があります。柵の中に入らないようにしましょう。
- ごみは持ち帰りましょう。
- 暑い日はのみものをのみましょう。

■服装

- ぼうし
- 運動ぐつ
- のみもの
- ハンカチ, タオル

■あるとよいもの

- タッパ
- 捕虫網
- タモあみ



◎お問合せ

財団法人 神戸市公園緑化協会 公園部 公園緑地課
 〒654-0163 神戸市須磨区緑台
 TEL FAX 078-742-2720
<http://www.kobe-park.or.jp/kyoukai/>
 (みなさんからの声をあまちしております)

- つかまえたきものは、つかまえた場所に逃がしてあげましょう。
- 深い池のまわりには柵があります。柵の中に入らないようにしましょう。
- ごみは持ち帰りましょう。
- 暑い日はのみものをのみましょう。



小さな流れの中には小さな昆虫や貝がいるよ
石を動かしてみよう。

- ゲンジボタル
- カワニナ
- カゲロウ
- カワゲラ
- ブラナリア

水辺にセキレイがあるい
ているかもしれないよ

- キセキレイ
- セグロセキレイ
- ハクセキレイ

水辺に植物がしげって、水が
きれいな池だよ。植物につかまっ
ているトンボはいないかな？

- フタスジサナエ
- オツネトンボ

耳をすませて、鳥の
声を聞いてみよう

- ウグイス
- ホトギス

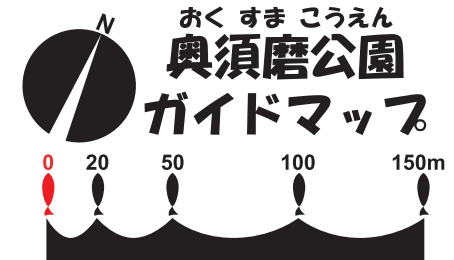
明るい芝生の広場には、春一番
に、小さな花が咲いてるよ
しゃがんで足元を見てみよう

- カンサイタンポポ
- ヒメオドリコソウ
- オオイヌノフグリ
- ホトケナギ
- スミレ
- スギナ(つくし)

池の中に何がいるかな？

- クサガメ
- ミシシッピアカミミガメ
- スジエビ
- ミナミヌマエビ
- アメリカザリガニ

	池,水路
	土
	草
	林

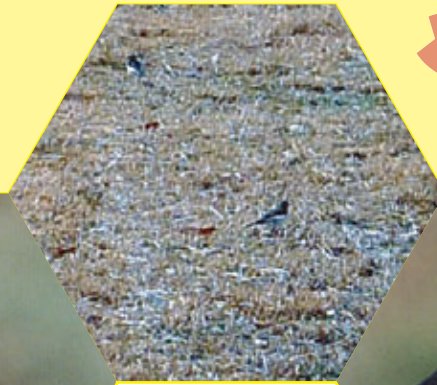




セイヨウタンポポ(キク科)
黄色い花をさかせます。
白い綿毛がついたタネは、風で遠くまで運ばれます。そして新しい土地で大きくなります。



オツネトンボ(イトトンボ科)
オツネトンボは、その名前のとおり、成虫で冬を越すイトトンボの仲間です。暖かい日に活動を始める春のトンボです。



セグロセキレイ(セキレイ科)
水辺が好きな鳥で、よく尾羽を上下に動かしながら歩いています。奥須磨公園にはセグロセキレイのほか、キセキレイ、ハクセキレイがいます。



ウグイス(ウグイス科)
春になると林の中からホーホケキョの鳴き声がきこえてきます。まだ若い鳥は鳴くのがヘタですが、練習してだんだん上手になります。



スギナ(トクサ科)
つくしと呼ばれているのはスギナの胞子茎です。つくしは枯れますが、光合成をする緑色の栄養茎が生えてきます。



ソメイヨシノ(バラ科)
満開になったソメイヨシノの花はみごとです。奥須磨公園ではサクラの丘でみられます。ソメイヨシノは雑種なので、サクランボはできません。



フタスジサナエ(サナエトンボ科)
フタスジサナエは、春一番に羽化するトンボです。緑色の美しい目をしてしています。ヤゴは泥底の枯葉に隠れています。



ゲンジボタル(ホタル科)
ホタルは昔から日本人に愛されてきた昆虫です。奥須磨公園ではゲンジボタルの幼虫を放流しています。5月下旬頃から、ひっそりと飛び始めます。



ホトギス(カッコウ科)
5月連休ごろ日が落ちてからキョキョキョ キョツキョという鳴き声がきけます。ほかの鳥の巣に卵を産んで、その鳥に育てさせる習性があります。

おくすま こうえん
奥須磨公園
春のいきものたち